

2022年10月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
16	17 21:30 ニューヨーク連銀製造業景気指数	18	19 05:30 API週間原油在庫 18:00 ユーロ圏消費者物価指数 21:30 米国建築許可件数 23:30 EIA原油在庫量	20 21:30 米国失業保険申請件数 21:30 フィラデルフィア連銀製造業景気指数 23:00 米国中古住宅販売戸数	21 15:00 英国小売売上高	22 02:00 ベーカー・ヒューズ社のリグカウント 02:00 ベーカー・ヒューズ社のリグ稼働数 04:30 CFTC原油ネットポジション
23 03:00 FOMC政策金利発表 12:00 日銀政策金利発表 20:00 BOE政策金利発表	24 11:00 中国鉱工業生産 11:00 中国第三四半期GDP 22:45 米国製造業PMI	25 23:00 米国消費者信頼感指数	26 05:30 API週間原油在庫 23:00 米国新築住宅販売戸数 23:30 EIA原油在庫量	27 21:15 ECB政策金利発表 21:30 米国コア耐久財受注 21:30 米国GDP(前四半期比) 21:30 米国失業保険申請件数	28 08:30 日本失業率 11:30 日銀政策金利発表 21:30 米国個人所得 21:30 米国個人支出	29 02:00 ベーカー・ヒューズ社のリグカウント 02:00 ベーカー・ヒューズ社のリグ稼働数 04:30 CFTC原油ネットポジション
30	31 08:50 日本鉱工業生産 10:30 中国製造業PMI 19:00 ユーロ圏消費者物価指数	メモ ・10月前半の原油価格は、月初開催のOPECプラス会合にて日量100万バレルの減産が協議されるとの報道から徐々に上昇し、その後市場予想に反して日量200万バレルの減産決定となると更に上昇。WTIで90ドルを超える展開となった。 ・ウクライナ情勢の激化やイランを巡る情勢等、地政学リスクもくすぶっており状況次第では更なる価格上昇も見込まれる。 ・一方で主要国中央銀行による利上げ継続見通しから、世界的な景気後退懸念は拭えない。IMFは2023年の世界の実質成長率予測を2.7%と、前回7月の予測から0.2%引き下げた。 10月期発表の翌年見通しで3%割れを見込むのは、2000年以降では初めて。また、米国・欧州・中国の経済を「失速」と表現している。				